



DATA

エリア：氷ノ山後山那岐山国定公園
所在地：新温泉町
着手:H16～

上山高原
自然再生協議会

概要：ススキ草原やブナ林など、貴重な自然生態系を有する地域を保全・再生するとともに、普及・啓発、交流促進に向けた各種活動を行う。

設立日：H22.3.21
全体構想作成日：H22.3.21
H27.3.15（変更）
実施計画作成日：H24.1.13
H27.3.15（変更）
(R4.3 現在)



自然学校

自然再生の手法

- ▶ ススキ草原の復元→①
- ▶ ブナ林等落葉広葉樹林の復元→②
- ▶ モニタリングの実施→③

氷ノ山山麓地域、上山高原のススキ草原の復元、ススキ草原再生の実証実験、ブナ林等落葉広葉樹林の復元を実施するとともに、植生や生息動物についてモニタリングを実施しています。

① ススキ草原の復元

近年、人による管理が行われなくなった草原は、ササや灌木がススキ草原に侵入しています。このため、侵入したササの刈り取りや灌木の伐採などを行い、ススキ草原の復元を行っています。

また、採草・火入れ・牛放牧などの管理手法の実証実験を行っています。



灌木の伐採



但馬牛の放牧

うえやまこうげん
上山高原

再生目標

上山高原及び周辺地域において、ススキ草原約45haを維持・再生し、ブナを中心とした落葉広葉樹林の森約313haの再生することを目指す。



茅刈り



扇ノ山山麓のブナ林



霧ヶ滝

ここに注目！ 自然資源×産業による持続可能な地域づくり

ススキ草原の復元のために伐採した灌木は、ほど木にして、しいたけを生産・販売しています。また、刈り取ったススキは、茅葺き屋根用の茅として出荷しており、このようにして得た売上金の一部を活動費に充て、持続的で自立した活動を目指しています。

② ブナ林等落葉広葉樹林の復元

スギの植林によりブナ林等の落葉広葉樹林が減少しているため、針広混交林化を目指して、スギ人工林を間伐し、ブナの植樹・種まきを行い、育林しています。



ブナの植樹作業

③ モニタリングの実施

ススキ草原の管理手法について、生物多様性やコスト面の効果について調査しています。(イヌワシ生息状況・ススキ草原植生・動物生息状況調査)

また、ブナ苗の育成状況、植生変化について調査しています。(ブナ林復元生態系調査)